

平成25年第1回立科町定例議会会議録

1. 招集年月日 平成25年3月5日（火曜）

1. 招集の場所 立科町議会議場

1. 開会 午前10時 宣告

1. 応招議員

1番 榎本 真弓	2番 森本 信明	3番 小宮山 正儀
4番 土屋 春江	5番 西藤 努	6番 田中 三江
7番 山浦 妙子	8番 小池美佐江	9番 箕輪 修二
10番 宮下 典幸	11番 橋本 昭	12番 滝沢寿美雄

1. 不応招議員 なし

1. 出席議員 12名

1. 欠席議員 なし

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町長 小宮山和幸	副町長 森澤光則	教育長 塩沢勝巳
総務課長 笹井茂	町づくり推進課長 笹井恒翁	
町民課長 羽場幸春	建設課長 荻原邦久	
教育次長 笹井伸一郎	観光課長 岩下弘幸	
ハートフルケアたてしな所長 佐藤繁信	会計室長 真瀬垣妙子	
農業委員会会長 寺島秀勝	庶務係長 長坂徳三	

1. 本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 今井民夫	書記 伊藤百合子
-------------	----------

散会 午前10時01分

(午前10時00分 開会)

議長（滝沢寿美雄君）これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

◎日程第1 議案第25号

議長（滝沢寿美雄君）次に、日程第1 議案第25号 平成24年度立科町一般会計補正予算（第5号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を願います。笹井総務課長、登壇の上、願います。

〈総務課長 笹井 茂君 登壇〉

総務課長（笹井 茂君）それでは申し上げます。

議案第25号 平成24年度立科町一般会計補正予算（第5号）について、提案説明を申し上げます。

1ページをお願いいたします。

歳入歳出の予算の補正は、総額に歳入歳出それぞれ519万4,000円を追加し、予算の総額を41億8,082万4,000円とするものでございます。

6ページをお願いいたします。

第2表繰越明許費でございます。

7款土木費、2項道路橋梁費、事業名は道路舗装事業、金額383万8,000円ということですが、これは町単土木事業、町道橋場線の道路舗装工事が、牛鹿大池の県営ため池等整備事業と工事箇所が重複するため、工事の段取りの中で、県営ため池等整備事業の完了後に工事を進めることとなったため、事業繰越をするものでございます。

続いて、9ページをお願いいたします。

2歳入でございますが、1款町税では、1項町民税及び2項固定資産税の滞納繰越分の増額ですが、いずれも徴収実績によるものでございます。

6款地方消費税交付金は、確定によるもので、減額でございます。

12款分担金及び負担金では、保育料の滞納繰越分の実績、また10ページで、区域外就学児童負担金は1名減による補正でございます。

13款使用料及び手数料は、教員住宅使用料及び飼犬新規登録手数料の実績に伴う補正でございます。

14款国庫支出金は、すべて事業実績に伴う補正でございます。

11ページの15款県支出金でございますが、1項県負担金は、実績及び実績見込による減、次の12ページで2項県補助金の4目農林水産業費補助金では、中山間地域農業直接支払補助金は対象農地の減、また農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金は登録法人の解散に伴う減額でござ

ざいます。森林づくり地域活動推進事業補助金は、地域で進める里山集約化事業への補助金に係るもので、新たに計上をいたしました。その他は、事業費確定及び実績見込みに伴う補正でございます。

16 款財産収入で、1 目財産貸付収入の増は、契約実績及び徴収実績によるものでございます。

続いて、13 ページでございますが、2 項財産売却収入は、碎石生産量の増に伴う増額の補正でございます。

17 款寄附金で、1 目総務費寄附金は、2 名の方からいただいたふるさと寄附金の計上でございます。3 目教育費寄附金は、1 名の方からいただいた寄附金を計上いたしました。その他は、実績に基づく補正でございます。

18 款繰入金でございますが、今までいただいていたふるさと寄附金を、寄附者の意向に沿った事業に充当するため、ふるさと基金から 98 万 7,000 円の繰入金を計上いたしました。

なお、内訳ですが、寄附者は 9 名でございますが、住みよいまちづくりに関する事業に向けては 7 名の方、それから旧跡、史跡を後世につなげることに係る事業ということで寄附された方は 2 名でございます。なお、その充当先につきましては、歳出のほうでは申し上げますが、保育園遊具設置費用、それから小学校教材購入費用、そして笠取峠松並木公園看板修繕費用のほうに充当ということでございます。

次に、また住民生活に光をそそぐ交付金基金については、24 年度までに活用することになっておりますが、充当のできなかった金額を国へ返還するため繰り入れするものでございます。

続いて、14 ページをお願いいたします。

20 款諸収入は、貸付金元利収入の減であります。有害鳥獣駆除対策協議会貸付金に係るもので、事業の見直しに伴う事業費の減によるものでございます。4 項雑入で、総務費雑入のうち、町村会共済関係受入金は、倒木による光ケーブルの断線事故、また権現の湯のガラス破損に係る共済金の収入でございます。地域情報基盤施設貸付料については、丸子テレビ放送と契約を結び、光ファイバー芯線貸付料を新たに計上をいたしました。商工費雑入の信用保証料返還金は、償還期間中の繰上償還に係る保証料について、町へ返還してもらうものでございます。その他は、実績及び確定に伴う補正でございます。

15 ページのほうへお願いいたします。

3 歳出でございます。

2 款総務費は、1 目一般管理費では、一般管理経費及び電算管理経費は実績に基づく減額の補正であり、一般職給与の地方公務員災害補償基金負担金は、東日本大震災により多くの公務員が亡くなられたことに伴う特別負担金を増額補正をいたしました。3 目財産管理費では、財産管理経費は町有施設の除雪委託料を増額し、工事請負費等は実績及び入札差金により減額補正をいたしました。

16 ページをお願いいたします。

基金管理経費では、住民生活に光をそそぐ交付金の未充当分を精算還付金として計上いたしました。財政調整基金に 1 億円を積み立てるための補正額として 9,994 万 5,000 円を、また福祉施

設整備基金積立に 600 万円を計上いたしました。5 目企画費では、企画一般経費の委託料は入札差金であり、広報経費の印刷製本費はページの単価変更による減額であります。また、まちづくり事業経費は、がんばる地域応援事業交付金の実績による減額補正でございます。

次の 17 ページでございます。

8 目地域情報通信費では、倒木被害に伴う引込線断線復旧工事費用を計上しました。7 項コミュニティ費では、コミュニティ事業経費は事業実績及び入札差金による補正でございます。

18 ページをお願いいたします。

一般職給与は、再任用職員の格付けの誤りにより増額するものでございます。

3 款民生費は、1 項社会福祉総務費では、老人福祉センター管理経費で、浴室からの緊急呼出装置設置費用として 18 万 9,000 円を計上いたしました。障害者支援事業経費では、法改正に伴う改修及び育成医療機能追加に伴う電算システムの改修委託費用として 38 万円を計上し、ほかには実績に伴う補正でございます。

19 ページですが、2 項児童福祉費では、保育所一般経費で、開園までのたてしな保育園の警備保障委託費用を計上いたしました。

続いて、20 ページでございます。

各保育所事業費は、事業見込みに伴う補正でございます。保育所建設経費は、たてしな保育園の竣工式及び閉園に伴う記念誌作成にかかる費用 89 万円を計上し、なお財源のほうを見ていただきますと、ふるさと基金繰入金をこの事業の財源のほうへ振り替えをいたしました。

21 ページですが、3 項高齢者福祉費では、高齢者福祉一般経費は、前年度精算及び実績に伴う補正でございます。居宅介護支援事業経費は、介護用品支給事業及び家庭介護者慰労金が不足により増額補正でございます。特別会計繰出金は、ハートフルケアたてしなの入居者増に伴う補正でございます。

続いて、22 ページをお願いいたします。

人権センター運営経費、また次の 4 款衛生費は、実績見込みにより減額補正でございます。

24 ページをお願いいたします。

5 款農林水産業費は、1 項農業費では、農業者年金経費の担当職員給料は事務委託金増に伴うもので、その下にございます一般職給与との調整による計上でございます。農業総務一般経費は、農業振興ビジョン策定委員の費用弁償を計上しました。農業振興経費は、事業内容の変更に伴う有害鳥獣駆除対策協議会貸付金の減額、また農畜産物立科ブランド確立事業経費、次の畜産振興経費は実績見込みに伴う補正でございます。

25 ページですが、中山間地域農業直接支払事業経費は、対象となる農地の減少による交付金の減で、次の農業再生事業経費は法人解散による補助金の減額補正でございます。2 項林業費では、林業振興経費は、地域で進める里山集約化事業補助金として、古町地区で行った森林整備に対しての補助金 4 万 5,000 円を計上しました。松くい虫防除対策事業経費、また次の 26 ページの森林造成事業経費は、事業費確定による減額補正でございます。

6 款商工費は、1 項商工費では、中小企業退職金共済掛金補助金が申請件数の増に伴い不足の

ため増額計上し、その他は確定及び実績見込みによる補正でございます。

27 ページですが、7 款土木費は、1 項土木管理費では、土木管理一般経費で、積算システムリース料は契約単価の変更に伴う減で、2 項道路橋梁費では、道路維持管理経費で除雪委託料は作業時間の増に伴い増額、その他また道路新設改良舗装経費は実績見込みによる減額の補正でございます。交通安全施設整備経費は、凍結防止剤の不足に伴う増額補正でございます。国・県道改良事業経費は、県道立科小諸線、塩沢地区の兼用側溝工事の増に伴う、県に支払う負担金の増額補正でございます。

続いて、28 ページをお願いいたします。

橋梁維持経費は、設計精査により、工事費を減額いたしました。4 項住宅費では、町営住宅建設事業経費で、改築計画を検討しているものの、調査、測量に至らず、減額といたしました。住宅建築物耐震改修等事業経費では、事業実績に伴う減額をいたしました。

29 ページですが、5 項下水道費は事業の実績見込みに伴う補正でございます。

8 款消防費についても、確定及び実績見込みに伴う補正であります。次の 30 ページで、防災関係経費のうち、防犯灯設置工事費については、LED 切替箇所数の変更及び入札差金により、大幅な減額補正となりました。

30 ページをお願いいたします。

9 款教育費で、1 項教育総務費のうち、教育振興経費で、蓼科高校通学車両運行補助金を 150 万円増額をいたしました。2 項小学校費では、実績見込みに伴う減額であります。修繕費は、チャイム、機器の故障に伴う修繕費用 45 万 2,000 円を計上し、なお財源にはふるさと寄附金を充当いたしました。これは、学校教材費用も含めるということの中で、この目の中の総経費の中へ充当するということでございます。3 項中学校費では、教育振興経費で、聴力検査器具購入費用 16 万 7,000 円を計上いたしました。

続いて、32 ページをお願いいたします。

4 項社会教育費は、事業実績見込みに伴う補正であります。文化財保護経費は、埋蔵文化財包蔵地試掘調査の未実施に伴う減額で、ふるさと寄附金は文化財保護経費の財源に充当いたしました。

33 ページであります。

5 項社会体育費及び 6 項施設管理費は、いずれも実績見込みに伴う補正でございます。

10 款災害復旧費は、農地施設災害復旧経費では、2 カ所、塩沢及び牛鹿地区内の復旧費用を、また林業施設災害復旧経費では林道 1 カ所の復旧費用を計上しました。

34 ページ、歳入歳出の差額 2,882 万 3,000 円は予備費で調整をいたしました。

35 ページ、36 ページは、給与費明細の補正でございます。

以上、ご説明を申し上げますが、よろしくご審議のほどお願いを申し上げます。

◎日程第 2 議案第 26 号～日程第 4 議案第 28 号

議長（滝沢寿美雄君）次に、日程第 2 議案第 26 号 平成 24 年度立科町国民健康保険特別会計補正予

算（第3号）についてから、日程第4 議案第28号 平成24年度立科町介護保険特別会計補正予算（第3号）についてまでの3件を一括議題とします。

本案について、提案理由の説明を願います。羽場町民課長。

〈町民課長 羽場 幸春君 登壇〉

町民課長（羽場幸春君）議案第26号 平成24年度立科町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

1ページをごらんください。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ141万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億7,888万円とするものでございます。

5ページをお願いいたします。

歳入であります。1款国民健康保険税、1目一般被保険者国民健康保険税180万円、2目退職被保険者等国民健康保険税20万円、それぞれ過年度滞納繰越に係る増額補正でございます。

3款国庫支出金、2目高額医療費共同事業負担金27万円の減、6款県支出金、1目高額医療費共同事業負担金27万円の減、いずれも実績による減額をお願いするものであります。

次に、11款諸収入であります。特定健診、集団健診実績による一部負担金を4万7,000円減額補正をお願いするものです。

次に、歳出であります。7ページをお願いいたします。

1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費を6万7,000円増額補正をお願いするものです。内容では、印刷製本費で、70歳から74歳の方の自己負担割合が、26年3月末まで1割に据え置かれることに伴う高齢受給者証の再交付のため帳票作成費用等です。

2款保険給付費、1項療養費、1目一般被保険者療養給付費で1,000万円の減、2目退職被保険者等療養給付費で2,000万円の増、4目退職被保険者等療養費で10万円の増額をお願いし、2項高額療養費、1目一般被保険者高額療養費で500万円の減、8ページに移りまして、2目退職被保険者等高額療養費で500万円の増額をお願いするものです。内容は、一般医療対象者が退職者医療制度へ移行したことから、退職者医療の診療費を増額し、一般医療費について減額と見込んだものです。これは、退職振替が進んでいる結果でございます。

次に、7款共同事業拠出金、1目高額医療費共同事業医療費拠出金で107万7,000円の減、2目保険財政共同安定化事業拠出金で641万円を実績により、それぞれ減額補正をお願いするものです。

9ページをお願いいたします。

8款保健事業費、1目保健衛生普及費22万円につきましては、8節報償費で2万円の増、これは町・保健委員・国保が主催する筋力アップ教室の講師謝金です。19節負担金、補助及び交付金では、人間ドック補助金を20万円の増額をお願いするものです。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第 27 号 平成 24 年度立科町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

1 ページをごらんください。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 39 万 9,000 円を追加し、6,489 万 9,000 円とするものでございます。

4 ページをごらんください。

歳入であります。1 款後期高齢者医療保険料、1 目特別徴収保険料であります。利用実績増により 100 万 8,000 円の増額をお願いするものであり、普通徴収保険料と合計で 4,047 万 5,000 円とするものでございます。

次に、4 款繰入金、1 項一般会計繰入金、2 目保険基盤安定繰入金であります。県の広域連合から示された確定後の市町村保険料等負担金により 58 万 1,000 円の減額となります。

5 款 1 項繰越金においては、23 年度の実績により 2 万 8,000 円の減額となります。

次に、5 ページ、歳出をごらんください。

2 款 1 項後期高齢者医療広域連合納付金において、保険料負担金の 95 万 2,000 円増、保険基盤安定負担金 58 万 1,000 円の減により、合計で差引 37 万 1,000 円の増額となります。

さらに、4 款 1 項予備費において、2 万 8,000 円の調整をお願いするものであります。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第 28 号 平成 24 年度立科町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

1 ページをごらんください。

歳入歳出予算の総額にそれぞれ 40 万 9,000 円を減額し、8 億 2,724 万 8,000 円とするものでございます。

4 ページをごらんください。

歳入であります。10 款繰入金、1 項一般会計繰入金、2 目その他一般会計繰入金であります。町では介護認定審査会を佐久広域連合で行っており、その構成市町村では分担金が均等割 20%、40 歳以上の人口割 80%で負担しており、広域連合の補正予算が示され、当初負担金より 40 万 9,000 円減となったことで、一般会計からの繰入金が同額減となります。

次に、歳出をごらんください。

1 款総務費、3 項介護認定審査会費は、先ほどの歳入繰入金と関連内容による減でございます。

5 ページをごらんください。

4 款地域支援事業、1 項介護予防事業費、1 目介護予防二次予防施策事業費では、健診時の日常生活機能チェックリストの判定委託料で、1 万 8,000 円の増額をお願いするものであります。

4 款 2 項包括的支援事業・任意事業費では、3 節職員手当で 10 万 1,000 円の増額、また 12 節役務費で介護給付費通知事業を介護給付費適正化事業の一環として、任意事業への変更により、8 万 2,000 円の同額調整をお願いするものであります。

さらに、6款予備費において11万9,000円の調整をお願いするものであります。

以上、ご説明を申し上げましたが、よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

◎日程第5 議案第29号

議長（滝沢寿美雄君）日程第5 議案第29号 平成24年度ハートフルケアたてしな事業会計補正予算（第5号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を願います。佐藤ハートフルケア所長。

〈ハートフルケアたてしな所長 佐藤 繁信君 登壇〉

ハートフルケアたてしな所長（佐藤繁信君）議案第29号 平成24年度ハートフルケアたてしな事業会計補正予算書（第5号）につきまして、提案の理由をご説明申し上げます。

1ページをごらんください。

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ6,395万2,000円を追加し、歳入歳出それぞれ8億2,295万3,000円とするものでございます。

2ページをごらんいただきます。今回の補正の主な内容について、ご説明申し上げます。

歳入につきましては、実績と今後の見込みによるサービス費収入並びに自己負担金の調整、公費負担金収入及び障害者自立支援費共同住宅使用料の増、一般会計繰入金の増額、基金繰入金の増額であります。

3ページをごらんいただきたいと思います。

歳出につきましては、総務費では臨時職員退職金の増額、実績によるサービス事業費の調整並びに正職員の整理退職に伴う退職手当の特別負担金の増額、町村総合事務組合負担金等の増額でございます。

それでは、5ページ以降、主な内容についてご説明申し上げます。

1款サービス費収入、1項介護保険給付費収入でございます。1目居宅サービス費、3目居宅介護サービス計画費、5目施設介護サービス費、6目特定入所者介護サービス費収入、それぞれ増額をいたしまして、計960万8,000円の増額でございます。同じく、2項予防介護給付費収入、1目予防居宅サービス費収入で100万円の減額でございます。

6ページをごらんいただきたいと思います。

同じく、3項自己負担金収入、1目介護給付費自己負担金収入、2目予防介護給付費自己負担金収入、それぞれ増減をいたしまして、計105万円の増額でございます。同じく、4項生活保護利用者公費負担金収入でございますが、100万円の増額でございます。同じく、5項障害者自立支援費収入でございますが、100万円の増額でございます。

7ページをごらんいただきたいと思います。

3款使用料及び手数料、1項使用料、1目共同住宅の使用料でございますが、85万4,000円の増額でございます。

7 款寄附金、1 目寄附金でございますが、篤志寄附 9 万円の増額でございます。

8 款繰入金、1 目共同住宅運営費、共同住宅あんしんの利用者の増に伴います一般会計等繰入金 135 万円の増額でございます。

8 ページをごらんいただきたいと思います。

同じく、2 項の基金繰入金でございますが、1 目財政調整基金繰入金としまして 5,000 万円の増額でございます。

それでは、9 ページをごらんいただきたいと思います。

歳出でございますが、1 款総務費、1 項施設管理費、1 目一般管理費、臨時職員退職報償金等の増で、補正額 493 万 6,000 円の増額補正でございます。

2 款サービス事業費、1 項居宅サービス事業費、1 目居宅介護支援事業費、同じく 2 目訪問介護事業費、同じく 3 目通所介護事業費、4 目認知症対応型共同生活の事業費におきまして、共通しておりますものは、正職員の整理退職に伴う退職手当の特別負担金として、町村総合事務組合負担金への支出増額補正等で、合計 1,499 万 1,000 円の増額補正でございます。

10 ページから 11 ページの 2 款 2 項施設介護サービス事業費でございますが、19 節負担金、補助及び交付金でございますが、認知症専門棟りんどう棟建設に係る佐久広域連合への負担金 3,043 万 4,000 円の増でございます。また、正職員の整理退職に伴う町村総合事務組合負担金 2,100 万円の増額でございます。同じく、3 項地域支援事業費の減額、4 項高齢者生活支援共同住宅の 6 万 4,000 円の増額でございます。

最後の 12 ページでございますが、5 款予備費、1 項予備費でございますが、629 万 8,000 円の減額調整をさせていただきました。

以上、ご説明を申し上げましたが、よろしくご審議の上、お認めいただきますよう、よろしくお願いをいたします。

◎日程第 6 議案第 30 号～日程第 8 議案第 32 号

議長（滝沢寿美雄君） 日程第 6 議案第 30 号 平成 24 年度立科町住宅改修資金特別会計補正予算（第 1 号）についてから、日程第 8 議案第 32 号 平成 24 年度立科町水道事業会計補正予算（第 3 号）についてまでの 3 件を一括議題とします。

本案について、提案理由の説明を願います。荻原建設課長。

〈建設課長 荻原 邦久君 登壇〉

建設課長（荻原邦久君） 議案第 30 号 平成 24 年度立科町住宅改修資金特別会計補正予算（第 1 号）について、提案理由の説明をいたします。

1 ページをごらんください。

第 1 条、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ 464 万 8,000 円を追加し、歳入歳出の総額を、歳入歳出それぞれ 806 万 1,000 円とします。

4 ページをごらんください。

歳入ですが、3款財産収入、1目の利子及び配当につきまして、基金利子の実績見込みで1,000円を減額します。

4款基金繰入金を、392万5,000円増額します。これは、償還金に充てるため、基金からの繰入金でございます。

5款繰越金、前年度繰入金を5,000円増額します。前年度実績に基づくものでございます。

6款諸収入、2項住宅新築資金貸付金収入ですが、71万9,000円増額します。これは、過年度分償還収入の増によるものでございます。

5ページをごらんください。

歳入でございますが、1款土木費、1項住宅費の1目一般管理費で、財源内訳の変更でございます。貸付金の償還収入につきましては、現年度分を20万円減額し、過年度分を20万円増額します。

2款公債費、1項公債費の1目元金でございますが、464万8,000円増額し、618万8,000円とします。この財源内訳を、基金繰入金分470万8,000円、貸付金償還収入の現年分15万4,000円、過年度分39万9,000円とします。また、2目利子の財源内訳を基金繰入分1万8,000円、現年償還収入分4万6,000円、過年度償還収入分を12万円とします。この公債費でございますが、元金償還分154万円と今回の繰上償還分468万8,000円を合わせて618万8,000円となります。

以上でございますが、よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願いいたします。

続きまして、議案第31号 平成24年度立科町下水道事業特別会計補正予算（第4号）につきまして、提案理由の説明をいたします。

1ページをごらんいただきたいと思っております。

第1条、歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ40万5,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ4億5,533万2,000円とします。

4ページをごらんください。

1款分担金及び負担金ですが、下水道分担金360万円増額します。一般下水道分2件、茂田井地区の分担金分1件でございます。

5款繰入金でございますが、1目一般会計繰入金を400万4,000円減額し、3億502万円とします。それぞれの処理区、事業経費及び償還金等の額の確定見込みによる減額でございます。

6款繰越金、1目前年度繰越金につきましては、前年度繰越金1,000円未満の端数について調整するものでございます。

6ページをごらんください。

歳出でございますが、1款下水道につきましては、マンホールポンプ清掃委託料及びマンホールに関する工事費の実績等、それぞれの額の確定に伴う減額補正でございます。

3款予備費の39万円、増額補正で調整いたしました。

以上、よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

続きまして、議案第32号 平成24年度立科町水道事業会計補正予算（第3号）について、提

案理由の説明をいたします。

1 ページをごらんください。

収益的収入及び支出、第2条、平成24年度立科町水道事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予算額を次のとおり補正します。

第41款水道事業収益21万3,000円を増額し、2億6,557万5,000円とします。内訳としまして、第2項営業外収入を21万3,000円増額し、1,514万9,000円とします。

第51款水道事業費用を21万3,000円増額し、2億6,557万5,000円とし、第1項営業費用に80万6,000円増額し、2億1,193万2,000円とします。第4項予備費、59万3,000円減額し、510万6,000円とするものでございます。

2 ページをごらんいただきたいと思っております。

収益的収入及び支出、第3条、予算第4条中、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億6,326万を2億6,939万7,000円に、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金1億6,326万円を2億6,739万7,000円に改め、資本的支出の予算額を次のとおり補正します。

第71款資本的支出1億6,549万1,000円に1億614万7,000円を増額し、2億7,162万8,000円とします。第1項建設改良費を81万7,000円増額し、9,752万4,000円とします。第2項企業債償還金を1億532万増額し、1億7,410万4,000円とします。

3 ページをごらんください。

収益的収入及び支出でございますが、収入の41款水道事業収益、2目雑収入ですが、21万3,000円増額します。これは、万人田井戸の機器に落雷による被害が発生したための共済金でございます。

支出ですが、51款水道事業費用、1項営業費用ですが、原水及び浄水費の負担金を34万3,000円増額します。内訳としまして、代替施設揚水維持管理費ですが、土地改良区へ代替揚水を2カ所でポンプアップしております。その電気料高騰に伴う18万3,000円と、代替水使用料として東御市に送水している部分にかかわる土地改良区への使用料の16万円の増額補正でございます。

予備費、59万3,000円の減額により調整いたします。

次に、4 ページをごらんください。

資本的及び支出ですが、支出の71款資本的支出ですが、建設改良費の配水施設拡張費を68万9,000円増額します。これは、宇山送水管布設工事に伴い、笠取峠の松並木に排泥栓を設置することとなり、その工事費でございます。2目消火栓新設工事12万8,000円の増額は、町区の正明寺消火栓設置工事の増に伴うものでございます。2項企業債償還金ですが、1億532万円ですが、政府資金を繰上償還するための増額でございます。

以上でございますが、よろしくご審議の上、お認めいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

議長（滝沢寿美雄君）日程第9 議案第33号 平成24年度立科町索道事業特別会計補正予算（第4号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を願います。岩下観光課長。

〈観光課長 岩下 弘幸君 登壇〉

観光課長（岩下弘幸君）議案第33号 平成24年度立科町索道事業特別会計補正予算（第4号）について、提案理由の説明を申し上げます。

第1条、平成24年度立科町索道事業特別会計補正予算（第4号）は次に定めるところによる。

第2条、平成24年度立科町索道事業特別会計予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

支出でございます。第51款索道事業費用、既決予定額4億4,070万円、補正予定額はありません。計4億4,070万円でございます。第1項営業費用、既決予定額4億2,825万3,000円を181万円増額し、4億3,006万3,000円にするものでございます。第3項予備費で、181万円減額し、63万7,000円とするものでございます。

第3条、資本的収入及び支出は、予算第4条中、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額7,257万円を7,309万3,000円に、過年度分損益勘定留保資金6,911万5,000円を6,961万3,000円に、当年度分消費税及び地方消費税資本的支出調整額345万5,000円を348万円に改め、資本的支出額の予定額を補正するものでございます。

支出、第71款資本的支出、既決予定額7,257万円を52万3,000円補正し7,309万3,000円に、第1項建設改良費、既決予定額7,257万円を52万3,000円増額し7,309万3,000円にするものでございます。

2ページをお開きください。

収益的収入及び支出、索道事業費用の第1項営業費用を181万円増額し、4億3,006万3,000円にするものでございます。第1目リフト営業費用で、40万円の減額につきましては、旅費、油脂費、印刷製本費、使用料及び借上料、手数料を実績を見込み減額をいたしまして、修繕費では、8月17日に発生をいたしました落雷により、2 in 1スキー場の電源設備関係、特に八子ヶ峰リフトのキューピクルに大きな被害を受け、修繕費用を計上いたしました。また、報償費では、索道事業経営改善の検討をするため委員会を組織し、その委員報酬を30万円を計上いたしました。第2目のスノーマシン営業費用は、借上料、保険料について、実績見込みにより減額をいたしまして、修繕費では落雷による2 in 1スキー場の降雪用送水ポンプ制御盤修繕工事費用336万円を計上いたしました。第3目自然園営業費用は、実績見込みにより55万円減額し、予備費の181万円を減額し調整するものでございます。

資本的収入及び支出のうち、支出でございます。第71款資本的支出の第1項建設改良費の第2目固定資産購入費52万3,000円は、落雷被害により2 in 1スキー場、リフト券発券システム用パソコン4台を買い替えるための購入費でございます。

よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

◎日程第10 陳情第1号～日程第12 陳情第3号

議長（滝沢寿美雄君）日程第10 陳情第1号 安心して介護が受けられる介護サービスの充実を願う陳情から 日程第12 陳情第3号 中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書（案）の採択を求める陳情書までの3件は、2月20日までに受付をいたしました。これらについては上程をいたしました。ご意見をお持ちの方は質疑の際にお願いをいたします。

また、審査については、質疑終了後、所管委員会に付託する予定であります。

以上で本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会とします。ご苦労さまでした。

（午前11時01分 散会）